スマートビートル

基本操作ガイド

iOSとの設定と操作

# １　iOSとの接続設定

iPadやiPhoneと接続する際の初期設定の手順を説明します。この設定は一度行えば、設定を消去しない限り再設定は不要です。

スマートビートルはiPhoneと「点字ディスプレイ接続（BRL）」、「キーボード接続（KBD）」を2つのBluetooth接続を使って同時に行います。

iPhoneを操作して情報を読み取る場合はBRLモード、文章を作成するなどの入力を行う場合はKBDモードとそれぞれ切り替えながら使用します。

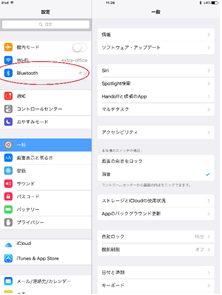
また、スマートビートルはBRLとKBDの接続をそれぞれ5件まで登録できます。これは複数台のiOS端末と接続して使用するための機能です。例えば、iPhoneとiPadを所有している場合2台共設定を行う事で、接続を切り替えてそれぞれの端末を使用することができます。

6件目以降を登録すると古い登録から消去しますのでご注意ください。

なおこの説明では端末をiPhoneとしています。iOSのバージョンは9.3.1です。

## 1.1　点字ディスプレイとしてのBluetooth接続

1. スマートビートルの電源をオンにしてください。起動音が鳴り、点字ディスプレイに「電源オン」と表示されスマートビートルが起動します。
2. 次に電源-F1を押してください。スマートビートルはペアリングモードを開始します。
3. 「選択-KBD」と点字が表示されたらスペースキーを一度押してください。「選択-BRL」に点字が切り替わるのでエンターを押してください。「ペアリングBRL」と点字が表示されます。
4. 次にiPhoneを起動してください。
5. iPhoneの「設定」から「Bluetooth」をオンに設定してください。

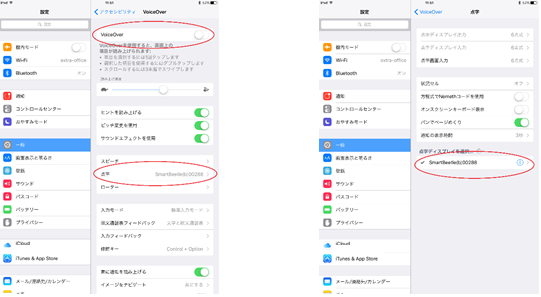


1. 次に「設定」の「一般」、「アクセシビリティ」、「VoiceOver」と進んでください。



1. 「VoiceOver」をオンにして、「VoiceOver」のメニューから「点字」をタッチしてください。
2. Smart Beetle(b)\*\*\*\*（シリアル番号）がiPhoneに表示されます。
3. Smart Beetle(b)\*\*\*\*（シリアル番号）をタップして接続を実行してください。
4. デバイス名の左側に✔が入れば接続成功です。

※デバイス名の(b)はBRL（点字ディスプレイ）を表します。

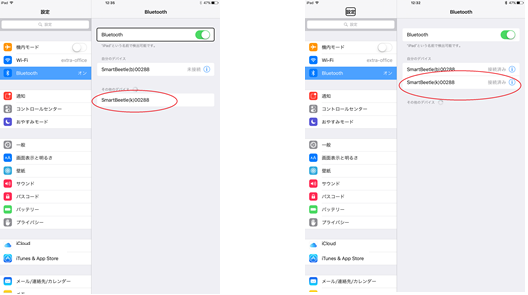


点字ディスプレイとして接続に成功すればVoiceOverの読み上げる内容の点字出力を開始します。

## 1.2　点字キーボードとしてのBluetooth接続

1. 点字ディスプレイの接続設定ができた状態で、スマートビートルで電源-F1を押してペアリングモードを実行してください。
2. 「選択-KBD」と点字が表示されたらエンターを押してください。「ペアリングKBD」と点字が表示されます。
3. 次にiPhone側で「設定」の「Bluetooth」を実行してください。
4. その他デバイスの項目に「Smart Beetle(k)\*\*\*\*（シリアル番号）が表示されます。
5. Smart Beetle(k)\*\*\*\*（シリアル番号）をタップして接続を実行してください。
6. デバイス名の左側に✔が入れば接続成功です。

※デバイス名の(k)はKBD（キーボード）を表します。



## 1.3　再起動時の初期接続

スマートビートルとiOS端末の接続後に、改めて使用する場合、接続を再度確認する必要があります。スマートビートルは複数のiOS端末やWindows端末と接続して使用することを想定していますので、再起動時には接続したい機器をペアリングリストから指定します。これまでに説明したBluetooth接続を再度行う必要はありません。

以下の手順で接続確認を行います。

1. まずスマートビートルを起動してください。
2. 次に電源と右スクロールキーを押してBRLモードにしてください。

点字で「ペアリング　BRL」と表示されます。

1. iPhoneを起動してください。
2. iPhoneを起動してログインすると、自動的にBRLモードで接続し、接続音が鳴ります。
3. スマートビートルの電源ボタンを短く一度押してメニューを開いてください。
4. スマートビートルのメニューから「ペアリングリスト(l)」を実行してください。
5. 点字で「BRLリスト」と表示されます。
6. 右スクロールを押すと、BRL接続でペアリング設定済みの端末情報が点字で表示されます。現在接続している端末名の行頭にact、未接続の端末名の行頭にprdと表記されます。BRL接続リストを表示後、「KBDリスト」になります。
7. KBDリストからKBD接続を実行したい端末名を選択しエンターを押してください。接続音が鳴り、KBD接続が完了します。

# 2　iOSでの操作

## 2.1　BRLモードとKBDモード

設定が完了すると、スマートビートルは点字ディスプレイとしての機能とBluetoothキーボードしての機能を両方使用できる状態になります。

点字ディスプレイの状態をBRLモード、キーボードの状態をKBDモードとよびます。

BRLモードではVoiceOverの点字ディスプレイ用コマンドが使用でき、KBDモードではフルキーボード用のコマンドを使用することができます。

これらのモードを切り替えながら端末を操作します。

## 2.2　コンボモード

BRLモードとKBDモードが両方使用できる状態をコンボモードとよびます。

1章と2章の設定が完了していればコンボモードの状態です。

コンボモード中は電源ボタンとF3ボタンを同時に押すことでBRLモードとKBDモードを切り替えることができます。

点字ディスプレイとして情報を確認する時はBRLモード、キーボードとして文字を入力する場合やキーボードコマンドを用いた操作を行いたい場合はKBDモードで操作します。

## 2.3　BRLモードの操作

BRLモードは他の点字ディスプレイを接続した場合と同じ状態です。VoiceOverの点字ディスプレイとして点字表示を行います。

基本的な操作は以下の通りです。

・上矢印：Space-1

・下矢印：Space-4

・左矢印：Space-3

・右矢印：Space-6

・ローターオプションを左回りで設定：Space-2-3

・ローターオプションを右回りで設定：Space-5-6

※ローターオプションで設定した移動単位は左右矢印の操作に反映されます。

・点字表示されている項目のタップ：タッチカーソルキー

・日本語点字表示の補正：Backspace-Enter-Space

※VoiceOverの点字出力は現在のところ日本語点字に完全対応しておらず（2016年4月現在）、点字が読みにくい場合があります。「日本語点字表示の補正」を実行することで一部のマス空けや長音表記への補正を行い、点字を読みやすくします。

BRLモードでは文字入力が行えません。入力を行う場面では電源-F3を押してKBDモードに切り替えてください。

## 2.4　KBDモードの日本語入力

iOSで日本語入力を行う場合、iOS側の入力モードとスマートビートル側の入力モードをそれぞれ設定して正しい組み合わせにする必要があります。

iOSに接続した状態でKBDモードに切り替えてF1-Space を押すと、iOS側のキーボードコマンド「入力モード変更」を行います。F1-Spaceを押すたびに「日本語ローマ字」と「US-English」などの設定を切り替えることができます。

注)接続している端末の種類やバージョンによって設定内容が異なる場合があります。

また、スマートビートルの日本語入力モードはBackspace-Enterを押すことで「ローマ字」と「かな」を切り替えることができます。

1)日本語入力をする場合

iOS側の設定を「日本語ローマ字」または「日本語かな」に設定し、スマートビートル側の設定を「かな」に設定してください。

2)アルファベットを入力する場合

iOS側の設定を「US-English」または「記号」に設定し、スマートビートル側の設定を「ローマ字」に設定してください。

上記以外の組み合わせに設定してしまうと正常な文字入力ができません。ご注意ください。

# 3 iOSのキーボードコマンド

Homeボタン: F 4

再生/一時停止: タッチカーソルキー10番

プレーヤー使用時にデータの最初に戻る：タッチカーソルキー11番

ミュートのオンとオフの切り替え：タッチカーソルキー12番

音量を下げる：タッチカーソルキー13番

音量を上げる：タッチカーソルキー14番

上矢印-左矢印（ローターオプションを左回りで設定）: Space-1-6（BRLモードではSpace-5-6）

上矢印-右矢印（ローターオプションを右回りで設定）: Space-3-4（BRLモードではSpace-1-2）

Alt-Del (項目削除): F2-Space-1-4-5

CMD-Space (文字入力切り替え): F1-Space

Alt-左矢印 (前のページへ移動): F3-Space-3

CMD-上矢印 (フィールド上の前のページへ移動): F2-Space-1

Alt-右矢印 (次のページへ移動): F3-Space-6

CMD-下矢印 (フィールド上の次のページへ移動): F2-Space-4

CTRL-上矢印 (先頭の項目へ移動）: F1-Space-1

CMD-左矢印 (文書の先頭へ移動): F2-Space-3

CTRL-下矢印 (最後の項目へ移動): F1-Space-4

CMD-右矢印 (文書の最終ページへ移動): F2-Space-6

Alt-下矢印 (次の列にスクロール): F3-Space-1

CMD-Shift-上矢印: F2-左スクロール-Space-1

Alt-上矢印 (前の列にスクロール): F3-Space-1

CMD-Shift-下矢印: F2-左スクロール-Space-4

上矢印-下矢印 (Tab2回押し): Space-1-4

CMD-Shift-左矢印: F2-左スクロール-Space-3

左矢印-右矢印 (クイックサーチのオンオフ切り替え): Space-3-6

CMD-Shift-右矢印: F2-左スクロール-Space-6

# 4　スマートビートルのホットキーコマンド

以下のホットキーを使うことで入力モードの切り替えや接続変更などの操作を素早く行う事ができます。

メニュー表示：電源ボタンを短く押す

電源を切る：電源ボタンを長押しする

ペアリングモード：電源ボタン-F1

USB接続モード：電源ボタン-F2.

Bluetooth BRL接続へ切り替え：電源ボタン-右スクロール

Bluetooth KBD接続へ切り替え：電源ボタン-左スクロール

Bluetooth ペアリングリストを開く：電源ボタン-F4

バッテリー充電情報：Backspace-Enter-P（1-2-3-4）.

ペアリング削除: Space-D（1-4-5）.

機器接続解除: Space-U（1-3-6）.

コンボモード中のBRLとKBDモード切り替え：電源ボタン-F3

2級英語モードへの切り替え: Backspace-Enter-W（2-4-5-6）.

クリップボード入力モード: Backspace-Enter-C（1-2）.

コマンドヘルプ: Space-H（1-2-5）.

点字キーボードレイアウト変更（ローマ字とかな）：Backspace-Enter

日本語点字表示の補正：Backspace-Enter-Space

# 5　記号入力一覧表

ローマ字(キーボード)モードでの入力

!: 2-3-4-6の点

": 5の点

#: 3-4-5-6の点

$: 1-2-4-6の点

%: 1-4-6の点

&: 1-2-3-4-6の点

': 3の点

(: 1-2-3-5-6の点

): 2-3-4-5-6の点

-: 3-6の点

=: 1-2-3-4-5-6の点

^: 4-5-7の点

~: 4-5の点

\(Backslash): 1-2-5-6-7の点

|: 1-2-5-6の点

@: 4-7の点

`: 4の点

[: 2-4-6-7の点

{: 2-4-6の点

]: 1-2-4-5-6-7の点

}: 1-2-4-5-6の点

;: 5-6の点

+: 3-4-6の点

:: 1-5-6の点

\*: 1-6の点

,: 6の点

<: 1-2-6の点

.: 4-6の点

>: 3-4-5の点

/: 3-4の点

?: 1-4-5-6の点

\_: 4-5-6の点

仮名モードでの入力

!: 2-3-5の点

#: 5-6の点に続けて1-4-6の点

&: 5-6の点に続けて1-2-3-4-6の点

(: 5-6の点に続けて2-3-5-6の点

): 2-3-5-6の点に続けて2-3の点

ー: 2-5の点

=: 5-6の点に続けて1-2-3-4-5-6の点

「: 5-6の点に続けて3の点

」: 6の点に続けて2-3の点

:: 5の点に続けて2の点

;: 2-3の点

+: 5-6の点に続けて3-4-6の点

、: 5-6の点に続けてスペース

。: 2-5-6の点に続けてスペース

・: 5の点に続けてスペース